

「*L. lactis* strain Plasma（プラズマ乳酸菌）」の研究チームが 日本食品免疫学会の2020年度「食品免疫産業賞」を受賞

～日本初の免疫機能に関する機能性表示の実現に高い評価～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）と小岩井乳業株式会社（社長 村松道男）の研究チームが、独自素材「*Lactococcus lactis* strain Plasma（プラズマ乳酸菌）」に関する研究成果と、プラズマ乳酸菌を使用した商品の免疫機能の機能性表示の実現が高く評価され、日本食品免疫学会の2020年度「食品免疫産業賞」を10月2日（金）に受賞しました。なお、11月18日（水）に開催された「日本食品免疫学会第1回オンラインシンポジウム」で受賞講演が行われました。

キリングroupは、長期経営構想「キリングroup・ビジョン2027」を策定し、「食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV[※]先進企業となる」ことを目指しています。その実現に向けて、既存事業の「食領域」（酒類・飲料事業）と「医領域」（医薬事業）に加え、キリングroupが長年培ってきた高度な「発酵・バイオ」技術をベースにして、人々の健康に貢献していく「ヘルスサイエンス領域」（ヘルスサイエンス事業）の立ち上げ、育成を進めています。その取り組みの一つとして、プラズマ乳酸菌を使用した商品をグループ横断で展開し、8月7日（金）に機能性表示食品の免疫機能で初めて消費者庁に届出受理されました。

※ Creating Shared Value の略。お客様や社会と共有できる価値の創造。

● 日本食品免疫学会と「食品免疫産業賞」について

日本食品免疫学会は、食品の免疫調節機能を明確にし、それを裏付けるための免疫機能に関する学術活動を行なう学会として、2004年10月21日に設立されました。食品免疫学の応用研究においてすぐれた成果を挙げ、人々の健康の維持増進に資する食品を開発・普及し、今後の食品免疫学の応用への貢献が期待される研究者または研究グループに「食品免疫産業賞」を授与しています。

● 受賞者

キリンホールディングス株式会社と小岩井乳業株式会社の研究チーム

● 授賞理由

キリンホールディングス株式会社は、*Lactococcus lactis* Plasma が樹状細胞の特定のサブセットに作用してI型IFN産生などの免疫賦活効果を示し、風邪やインフルエンザ様症状を軽減することを見出した。そして、同社は*Lactococcus lactis* Plasma を商品化するとともに、2020年8月7日に免疫の機能性表示を実現された。本学会の目標の一つである免疫機能の表示が会員企業により実現されたことのインパクトは大きい。これらの功績は、食品免疫産業賞にふさわしいと評価された。

<日本食品免疫学会ホームページ> http://www.jafi.jp/about/award/2020_gt_winning/

キリングroupは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。